

「事業名:インターンシップ型農業・農村総合活性化戦略プロジェクト」**東京農業大学 連携市町村:浪江町****現地拠点:双葉郡浪江町 福島舞台ファーム株式会社(2階事務室)****事業のポイント**

■2018年度から20年度にかけて、福島県浪江町の農業“新興”に向けた取り組みとして、就農拡大・スマート農業・6次産業化に向けた現地活動の実績から地域企業への就職者2名を輩出した。しかし、浪江町への町民の帰還意向は低く地域経済を再生させるには、更なる移住・定住などの人材定着が課題である。そこで本事業では、インターンシップ型の教育研究プログラムを実施し、地域企業等との連携による戦略的プロジェクトを展開し、農村地域活性化に取り組む。

人材育成目標

■福島県浪江町への新規就農および地域企業等への就職実績として、5年間で9名の人材定着を目指す。また、浪江町の復興支援活動に参加し、将来的な交流人口・関係人口として期待できる大学生等を「復興支援サポーター」を年間20名育成する。

2022年度の活動内容

- 本学の3キャンパス(世田谷・厚木・オホーツク)を基盤にして、浪江町、(株)舞台ファーム、地域企業と連携した新規就農や町内就職に向けた「特別インターンコース」「新規就農実践講座」を実施し、地域への人材定着を目指す。
- ・大学生・町民向けの「復興浪江学」、「一般農業実習プログラムコース」「特別実習プロジェクトコース」を開講して教育・研究プログラムを構築し、「復興支援サポーター」を育成する。
- ・新規就農・6次産業化支援プロジェクト(ペピーノ、エゴマ、景観樹木、花卉、担い手育成調査)を継続し、ふるさと再生・空間演出イベントを新たに実施する。



特別インターン(鳥獣対策用フェンス設置)

取り組みによって得られる成果

■本事業の取り組みによって、浪江町への交流人口・関係人口の増加、新規就農や地域企業等への人材定着が期待される。復興農学会を構成する大学や自治体等との連携による課題解決により地域全体の活性化に繋げる。